

報告日 令和7年9月24日  
報告回次 3回目

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	北設広域事務組合			代表者名	土屋 浩
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	情報ネットワーク係	連絡先電話番号	0536-83-5733
担当者役職	主事	担当者氏名	金田 隆聖	連絡先E-mail	
住所	441-2601 愛知県設楽町津具字下川原				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署			
担当者氏名	連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX推進		
概要	公設公営による情報通信基盤「北設情報ネットワーク」の民営化（民間譲渡）が決まり、移行事業を進めていく中で、町職員がDXを推進していくため、地域情報化アドバイザーから助言、支援をいただきたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 防災 テレワーク ICT活用広報 その他				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	635	令和7年9月18日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年9月5日	支援・助言&講演（実地）	8時30分	17時00分	90
				活動時間（分）	420
派遣場所	会場名	設楽町役場		最寄駅	東栄駅
	所在地	設楽町田口字辻前14番地		最寄駅からの交通手段	公用車で送迎

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 あい子
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	実証実験について、モニターリングとしてご支援、ご高話をいただいた。 事業者の説明に対して、職員に分かりやすく解説していただいたり、分かりづらい部分について、事業者へ質問し、説明を引き出させていただいた。
アドバイザーへの要望事項	今後も引き続きご支援をうけ賜わりたく存じます。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	30人
	属性	自治体職員		
	人数		30	

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	DXの推進を図るために、町村職員に向けた勉強会を開くことを検討している。 よりよい勉強会となるものを目指しているが、内容について、苦慮している。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	北設楽郡内町村職員が、今後のDX推進につながるよう、内容の精査を行い、実のある勉強会にする。 勉強会を通して、今後の計画策定や機運醸成を目指す。今後に繋がるような勉強会にする。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<p>前回の勉強会で、アドバイザーにご紹介いただいた放送事業者：中京テレビ放送株式会社・ソラメディアからドローンの利活用について、先進事例をご紹介いただいた。</p> <p>放送事業者と今後も連携していくにあたり、ドローンの有事対応における有用性の確認をするため、「山間過疎地域における災害時等のドローン活用の実証実験」を行った。防災をはじめ、様々な分野で応用ができると、具体的な事例紹介をいただきながら、学ぶことができた。</p> <p>アドバイザーにはモニタとして入っていただき、放送事業者の説明を、職員が理解しやすいように補足しながら職員からの質疑や意見を引き出してくださいました。</p> <p>実証実験終了後も、放送事業者と自治体との打ち合わせに参加していただき、有意義な打ち合わせになった。アドバイザーに入っていただくことで自由闊達な意見交換ができ、認識合わせ等がより円滑に進んだ。</p> <p>また、報道発表をしっかりと行うことで、一般職員や地域住民への広報の必要性と手法について実践で学べた。</p>
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<p>自治体職員にとって、新鮮な話題であり、DX推進につながる知識習得の機会となった。</p> <p>質疑応答でも、アドバイザーに職員がイメージしやすいような質問をしていただき、職員の理解がより深まった。</p> <p>ドローン活用の実証実験があったことで、DX推進に向けた機運醸成ができた。</p> <p>放送事業者と、今後の連携に向けて、打合せを進めていくこともできた。</p> <p>報道発表を実施することで、新聞社と放送事業者ともに取材を受けることができた。</p> <p>また、広報誌への掲載についても、急遽11月号の広報誌で掲載することになった。</p>
具体的な成果物	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他</p> <p>アドバイザーにご紹介いただいた放送事業者と実証実験を行うことで、今後の連携の必要性を見出すことができた。各町村職員に対し、ドローン活用という具体的な事例紹介があつたことで、DX推進に向けた機運醸成ができた。</p> <p>新聞は翌日の朝刊に記載された、テレビは当日夕方のニュースで放送され、Youtubeでも視聴ができるために、地域住民への広報につながった。</p>
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	無し。
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>アンケートを行う時間が取れなかった。講演後質疑応答の時間を設け、講演者と職員のやり取りの時間をとった。</p>
4-3. 今後の計画	<p>最も当てはまるものリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある</p> <p>放送事業者と、自治体との連携を模索し今後の事業策定を検討していく。</p> <p>各自治体では、必要に応じて、ドローン機器や資格取得等に向けて、予算化する予定。</p>
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<p>町職員の知識習得、育成を行うことで、「地域の課題解決」や「DXの推進」を進めていく。今後の計画策定や、各職員の機運醸成を目指す。</p> <p>自治体と移行先事業者との連携を模索していく。</p> <p>放送事業者と、ドローン活用の方法を模索し、事業策定をしていく。</p> <p>上記で取り進めたDX推進の中でとる手法により、最終的に地域住民等の利便性向上に貢献する。</p>

## 5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good\\_practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/)

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

